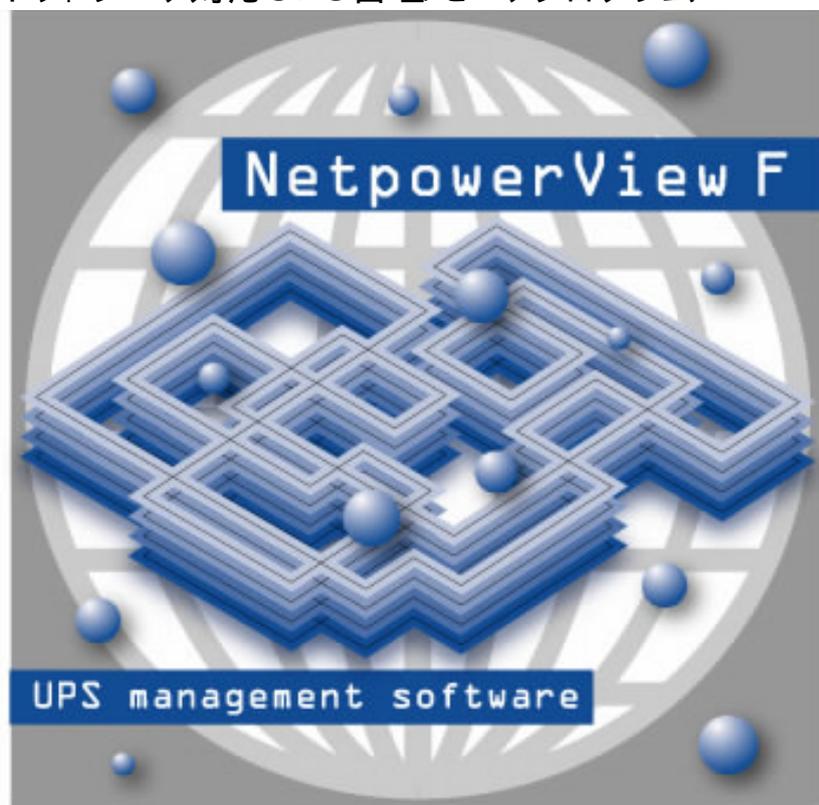


ネットワーク対応UPS管理/モニタプログラム



NetpowerView F[®] V5.0.0

Linux版 UPSMON

ユーザーズ・ガイド

使用許諾条項

本ソフトウェアをご使用になる前に、下記の使用条件をよくお読み下さい。

ご使用になられた時点で、下記使用条件に同意して富士電機株式会社(以下富士電機といいます。)との間で契約が成立したものとさせていただきます。

1. 本ソフトウェアおよびその複製物に関する権利はその内容により富士電機または富士電機への提供者に帰属します。
2. 富士電機は、本ソフトウェアのユーザ(以下ユーザといいます。)に対し、本ソフトウェアに対応する富士電機製品を利用する目的で本ソフトウェアを使用する非独占的権利を許諾します。
3. ユーザは、本ソフトウェアの全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。
4. 富士電機および富士電機への提供者は、本ソフトウェアがユーザの特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または本ソフトウェアに瑕疵がないこと、その他本ソフトウェアに関していかなる保証もいたしません。
5. 富士電機および富士電機への提供者は、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
6. 本製品の使用による金銭上の損害、損失利益につきましては一切その責任を負いません。
7. 本製品の誤記等により生じた損害及び付随的損害については一切その責任を負いません。
8. ユーザは、日本国政府または該当国の政府より必要な許可等を得ることなしに、本ソフトウェアの全部または一部を、直接または間接に輸出してはなりません。
9. 富士電機は、本ソフトウェアについて第三者からなされるいかなる権利主張に対しても一切その責任を負いません。
10. ユーザが、本契約に違反した場合には、本契約は直ちに終了するものとします。本契約の終了後は、ユーザは、本ソフトウェアを使用してはいけません。
11. 富士電機は、改良のため、本ソフトウェアの内容を予告なく変更することがあります。
12. 本ソフトウェアの無断配布、無断転載を禁止します。
13. ユーザは、1台のサーバでUPS管理プログラムを利用することを許可されます。複数のサーバでUPS管理プログラムを利用する場合は、各サーバ毎に使用承諾をうけなければなりません。
14. ユーザは、複数のワークステーションでUPSモニタプログラムを利用することを許可されます。
15. ユーザは、1つのキーコードに対して1台のスレーブサーバでリモートシャットダウンモジュール(RCCMD)を利用することを許可されます。複数のスレーブサーバでリモートシャットダウンモジュールを利用する場合は、各サーバ毎に使用承諾をうけなければなりません。
16. ユーザは、同一マスターサーバからネットワーク経由でシャットダウン指令を受ける複数のスレーブサーバは、リモートシャットダウンモジュールをインストールする際に、各サーバ毎に異なったキーコードが必要です。

著作権

著作権は富士電機(株)が保有しています。

商標

NetpowerView Fは富士電機(株)の登録商標です。その他すべての登録商標、商品名、会社名は各企業の所有物であり、情報の記載のみを目的として使用されます。

目次

第 1 章 UPS モニタプログラムの開始	4
第 2 章 モニタプログラム主画面	6
2.1. メニュー	6
2.2. ツールバー	6
2.3. サーバ名の表示	6
2.4. ロケーションの表示	6
2.5. イベントリスト・ペイン	6
2.6. UPS 型式名の表示	8
2.7. 時刻の表示	9
2.8. UPS 配電図	9
2.9. ステータス・ペイン	10
2.10. 運転状態ビット・ペイン	11
第 3 章 メニュー・コマンド	13
3.1. ファイルメニュー	13
3.1.1. 接続	13
3.1.2. 切断	13
3.1.3. サーバ検索	13
3.1.4. 再検索	13
3.1.5. イベントログ	14
3.1.6. データログ	14
3.1.7. 終了	15
3.2. 設定メニュー	15
3.2.1. 動作環境設定	16
3.3. 機能メニュー	17
3.3.1. パスワードの入力	17
3.3.2. コマンド実行	18
3.3.3. 特殊操作	18
3.4. スケジューラ	21
3.5. ヘルプメニュー	21
3.5.1. ヘルプ	21
3.5.2. UPS モニタについて	21
第 4 章 ツール・バー	22
4.1. 接続	22
4.2. 切断	22
4.3. サーバ検索	22
4.4. 再検索	22
4.5. イベントログ	22
4.6. データログ	22
4.7. 動作環境設定	23
4.8. コマンド実行	23
4.9. 特殊操作	23
4.10. スケジュール設定	23
4.11. ヘルプ	23
4.12. 終了	23

第 5 章 ログ・ファイル	24
5.1. ログ・ファイルの設定	24
5.2. イベント・ログ・ファイル	24
5.3. イベント・ログ・ファイル読み込み	24
5.4. データ・ログ・ファイル	24
5.5. データ・ログ・ファイル読み込み	26
第 6 章 スケジューラ	27
6.1. スケジューラ画面の呼び出し	27
6.2. 指定日のシャットダウンスケジュール	29
6.3. 毎日のシャットダウンスケジュール	33
6.4. 毎週のシャットダウンスケジュール	36
6.5. 指定日のバッテリーテストスケジュール	40
6.6. 毎日のバッテリーテストスケジュール	44
6.7. 毎週のバッテリーテストスケジュール	47

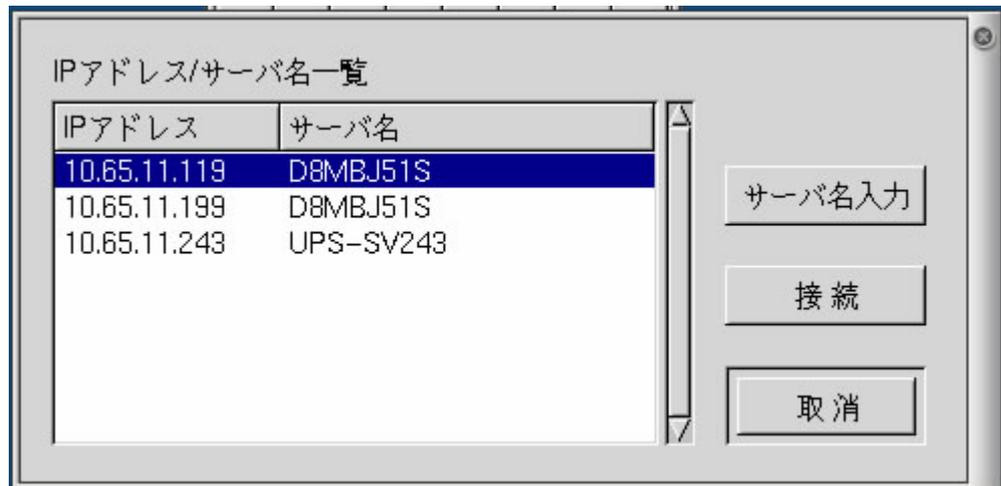
第1章 UPSモニタプログラムの開始

UPSモニタプログラムのインストール先ディレクトリに対して、パスが設定されている場合、UPSモニタプログラムは任意のディレクトリから起動することが可能です。

> npvf < ----モニタプログラムの起動

モニタプログラムが起動されると、ネットワーク内で現在稼動しているUPS管理プログラムを自動的に検索し、検索結果が表示されます。

表示された検索結果より接続対象のサーバーを選択すると、選択されたサーバーと接続されます。



サーバー検索結果

NetpowerView F-UPSモニタ

ファイル 設定 機能 スケジュール ヘルプ

サーバ 10.65.11.110 / ロケーション KOBE

発生日	発生時刻	イベント内容
06/17	16:00	UPS状態:通常運転
--/--	--:--	サーバ: fmv-5233に接続

UPS型式名 FUJI M-SPS005 6/17 16:01

入力電圧	1000 V
出力電圧	1000 V
入力周波数	600 Hz
出力周波数	600 Hz
負荷率	000 %
バッテリー電圧	0480 V
バッテリー容量	080 %
バッテリー周温	250 °C
周温平均値	250 °C
平均値算出日数	0 100 日
バックアップ可能時間	040 分

入力 出力

充電器 インバータ

バッテリー

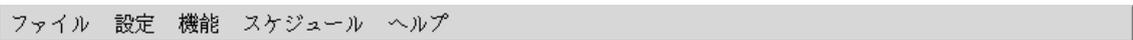
- 故障
- バッテリ異常
- バッテリテストNG
- バッテリテスト中
- 過負荷
- 入力異常
- バッテリ給電
- 通常運転
- 装置停止中
- シリアル通信切断

モニタプログラム主画面

第2章 モニタプログラム主画面

2.1. メニュー

画面上部にはUPSモニタプログラムの設定やUPSの操作等を行うためのコマンドを実行するメニュー・バーがあります。各メニュー項目の詳細については、“第 3 章メニュー・コマンド”を参照してください。



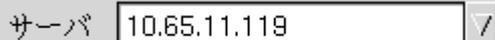
2.2. ツールバー

メニュー・バーの下にはツール・バーが表示されます。各ツールの詳細については、“第 4 章 ツール・バー”を参照してください。



2.3. サーバ名の表示

現在監視を行っているサーバの名称が表示されます。



この表示はプルダウンとなっており、サーバー検索機能によって検索された各サーバーが表示されます。

現在接続しているサーバーとは別のサーバーをクリックすると、現在の接続を切断し、選択されたサーバーに接続し直します。

2.4. ロケーションの表示

UPS管理プログラムの構成で設定したロケーションが表示されます。



2.5. イベントリスト・ペイン

イベント・リスト・ペインには、UPSモニタプログラムがサーバ(UPS管理プログラム)に接続してから発生したイベントの一覧が発生順に表示されます。リストの各行はイベント発生日付、発生時刻、イベント名で構成されており、新しい(最近起きた)イベントが最上部に表示されます。

発生日	発生時刻	イベント内容
07/06	13:00	通常運転
--/--	--:--	サーバ: chow.tkz.fujielectric.co.jpに接続

イベント・リストに表示されるイベントの一覧を以下に示します。

[注意] 接続しているUPSの型式名や、NetpowerView Fの設定 / バージョンの違いによって、一覧に記載されていても発生しないイベントが存在することがあります。

	イベント名	イベントの内容
1	UPSとの通信開始	UPSとの通信開始
2	入力異常	入力異常発生
3	バックアップ中	バックアップ中 UPSの入力プラグコードが正しく接続されていることを確認して下さい。
4	入力復電	入力復電
5	通常運転	通常運転
6	過負荷発生	過負荷 UPSの負荷を減らして下さい。
7	過負荷解除	過負荷解除
8	UPS故障: 温度異常	UPS故障: 温度異常 周囲温度・換気を確認し、約10分ほどしてから本装置前面のRESETスイッチを約3秒間押下して下さい。上記操作を行ってもALARM LEDが消灯しない、又再点灯する場合は、弊社担当CEに御連絡下さい。
9	UPS故障: 出力電圧異常	UPS故障: 出力電圧異常 上記8と同じ
10	UPS故障: 充電電圧異常	UPS故障: 充電電圧異常 上記8と同じ
11	UPS故障: 中間電圧異常	UPS故障: 中間電圧異常 上記8と同じ
12	UPS故障: 冷却ファン異常	UPS故障: 冷却ファン異常 上記8と同じ
13	バッテリー切断	バッテリー切断
14	バッテリー接続	バッテリー接続
15	バッテリー電圧低下	バッテリーLowビットがON
16	バッテリー電圧正常	バッテリーLowビットがOFF
17	起動時入力異常	起動時入力異常 入力電圧または周波数の異常です。UPSの入力プラグコードが正しく接続されていることを確認して下さい。
18	バッテリーテスト開始	バッテリーテスト開始
19	バッテリーテスト正常終了	バッテリーテスト正常終了

2.6. UPS 型式名の表示

接続先サーバが管理しているUPSの型式名が表示されます。

UPS型式名	FUJI M-SPS014
--------	---------------

2.7. 時刻の表示

接続先サーバの内部時刻が表示されます。



2.8. UPS 配電図

接続先サーバが管理しているUPSの現在の電力供給状態が表示されます。



この図は通常運転時の電力供給状態を示しています。

2.9. ステータス・ペイン

ステータス・ペインには、現在のUPSの運転状況を示す文字列が表示されます。各状態値は、その値によって表示色が黄または赤に変化するものがあります。

入力電圧	100.0	V
出力電圧	100.0	V
入力周波数	60.0	Hz
出力周波数	60.0	Hz
負荷率	000	%
バッテリー電圧	048.0	V
バッテリー容量	080	%
バッテリー周温	25.0	°C
周温平均値	25.0	°C
平均値算出日数	0 100	日
バックアップ可能時間	040	分

ステータス・ペインの各項目の表示色を以下に示します。

	項目名	表示色
1	入力電圧	90V 電圧 110V:緑 85V 電圧 < 90V / 110V < 電圧 115V:黄 電圧 < 85V / 115V < 電圧:赤
2	出力電圧	90V 電圧 110V:緑 電圧 < 90V / 110V < 電圧:赤
3	入力周波数	45Hz 周波数 65Hz:緑 周波数 < 45Hz / 65Hz < 周波数:赤
4	出力周波数	45Hz 周波数 65Hz:緑 周波数 < 45Hz / 65Hz < 周波数:赤
5	負荷率	負荷率 < 80%:緑 80% 負荷率 100%:黄 100% < 負荷率:赤
6	バッテリー電圧	常に緑
7	バッテリー容量	80% 容量 100%:緑 50% 容量 < 80%:黄 容量 < 50%:赤
9	バッテリー周温	0 周温 40 :緑 周温 < 0 / 40 < 周温:赤
10	周温平均値	0 周温 40 :緑 周温 < 0 / 40 < 周温:赤
11	平均値算出日数	常に緑
12	バックアップ可能時間	3分 時間:緑 時間 < 3分:赤

2.10. 運転状態ビット・ペイン

運転状態ビット・ペインには、現在のUPSの運転状況を示すビットの値を示す各ボタンが表示されます。各状態ビットがONの場合にボタンが点灯します。



各ボタンの内容を以下に示します。

	ボタン	内 容
1	故障	UPSに故障が発生した
2	起動時入力異常	起動時入力異常 入力電圧または周波数の異常です。UPSの入力プラグコードが正しく接続されていることを確認して下さい。
3	バッテリー異常	バッテリー異常が発生した
4	バッテリーテストNG	バッテリーテストNG UPSの入力プラグコードが正しく接続されていることを確認して下さい。
5	過負荷	過負荷 UPSの負荷を減らして下さい。
6	入力異常	入力電源に異常が発生した
7	バッテリー給電	バックアップ動作中
8	通常運転	通常運転中
9	装置停止中	UPS出力停止中
10	シリアル通信切断	UPSとUPS管理プログラムのシリアル通信切断

第3章 メニュー・コマンド

メニュー・バーから実行する各機能について説明します。

3.1. ファイルメニュー

メニュー・バーの「ファイル」をクリックすると、プルダウン・メニューが表示されます。



3.1.1. 接続

UPS モニタプログラムが接続しようとする、UPS 管理プログラムが動作しているサーバの IP アドレスを入力し、接続します。既に接続されている場合は、この項目は選択不可となっています。



3.1.2. 切断

現在接続されている、UPS 管理プログラムとの通信を切断します。

既に切断されている場合はこの項目は選択不可となっています。

3.1.3. サーバ検索

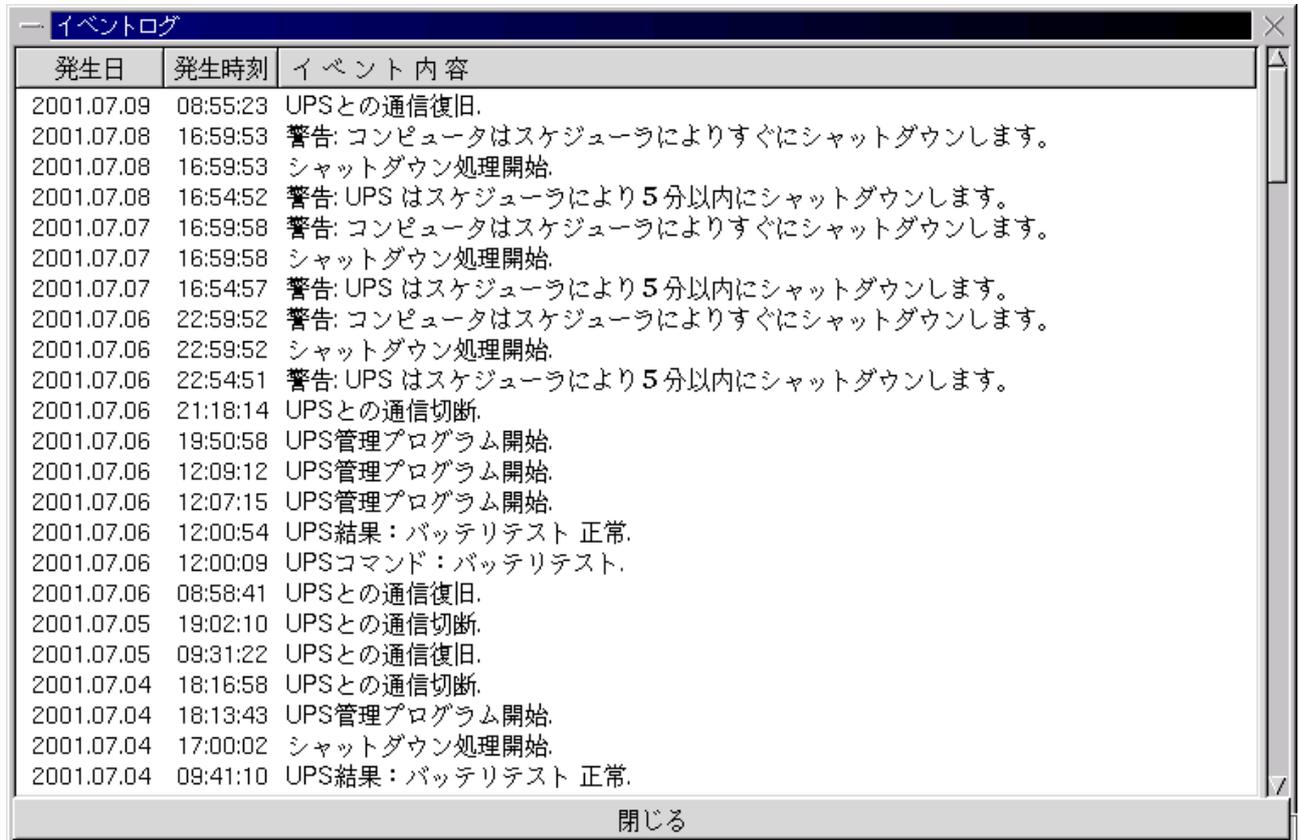
現在動作している UPS 管理プログラムを検索します。既に UPS 管理プログラムと接続している場合はこの項目は選択不可となっています

3.1.4. 再検索

既に UPS 管理プログラムと接続している場合に、再度サーバー検索を行う場合はこの項目をクリックします。UPS 管理プログラムと切断している場合はこの項目は選択不可となっています
検索結果は、2.3.サーバ名の表示の内容に反映されます。

3.1.5. イベントログ

UPS管理プログラムによりイベント発生が記録されているイベントログ・ファイルを表示します。
切断時にはこの項目は選択不可となっています。



発生日	発生時刻	イベント内容
2001.07.09	08:55:23	UPSとの通信復旧.
2001.07.08	16:59:53	警告: コンピュータはスケジューラによりすぐにシャットダウンします。
2001.07.08	16:59:53	シャットダウン処理開始.
2001.07.08	16:54:52	警告: UPS はスケジューラにより5分以内にシャットダウンします。
2001.07.07	16:59:58	警告: コンピュータはスケジューラによりすぐにシャットダウンします。
2001.07.07	16:59:58	シャットダウン処理開始.
2001.07.07	16:54:57	警告: UPS はスケジューラにより5分以内にシャットダウンします。
2001.07.06	22:59:52	警告: コンピュータはスケジューラによりすぐにシャットダウンします。
2001.07.06	22:59:52	シャットダウン処理開始.
2001.07.06	22:54:51	警告: UPS はスケジューラにより5分以内にシャットダウンします。
2001.07.06	21:18:14	UPSとの通信切断.
2001.07.06	19:50:58	UPS管理プログラム開始.
2001.07.06	12:09:12	UPS管理プログラム開始.
2001.07.06	12:07:15	UPS管理プログラム開始.
2001.07.06	12:00:54	UPS結果: バッテリテスト 正常.
2001.07.06	12:00:09	UPSコマンド: バッテリテスト.
2001.07.06	08:58:41	UPSとの通信復旧.
2001.07.05	19:02:10	UPSとの通信切断.
2001.07.05	09:31:22	UPSとの通信復旧.
2001.07.04	18:16:58	UPSとの通信切断.
2001.07.04	18:13:43	UPS管理プログラム開始.
2001.07.04	17:00:02	シャットダウン処理開始.
2001.07.04	09:41:10	UPS結果: バッテリテスト 正常.

閉じる

3.1.6. データログ

UPS管理プログラムがUPSから取得した状態値が記録されているデータログ・ファイルを表示します。

切断時にはこの項目は選択不可となっています。

データログ										
日付	時刻	入力電圧	入力周波数	入力電力	出力電圧	出力周波数	負荷率	バッテリー電圧	バッテリー周温	充電率
2001.06.20	11:05:02	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	11:10:09	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	11:15:15	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	11:20:22	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	11:25:28	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	11:30:34	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	11:35:40	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	11:40:46	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	11:45:52	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	11:50:59	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	11:56:05	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:01:11	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:06:17	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:11:24	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:16:31	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:21:37	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:26:43	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:31:49	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:36:55	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:42:01	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:47:07	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:52:13	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%
2001.06.20	12:57:19	100.0V	60.0Hz	0.00kVA	100.0V	60.0Hz	0%	48.0V	25.0°C	80%

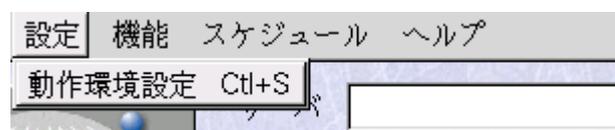
閉じる

3.1.7. 終了

UPSモニタプログラムを終了します。

3.2. 設定メニュー

メニュー・バーの「設定」をクリックすると、プルダウン・メニューが表示されます。



3.2.1. 動作環境設定

UPSモニタプログラムの動作環境設定を行います。現在、接続先ポート番号、マネージャとの通信周期、レスポンス待ち時間上限値の各値の設定は不可となっています。



ツールバーの表示

ツールバーの表示の変更を行います。

使用するツールバー表示を選択し、設定してください。

UPSモニタプログラムを一度終了し、再度起動させると設定が有効となります。

状態表示にアニメーションを使わない

2.8. UPS配電図でアニメーションを使用する場合は、チェック無し

アニメーションを使用しない場合は、チェック有りとし、設定してください。

UPSモニタプログラムを一度終了し、再度起動させると設定が有効となります。

ヘルプ表示に使用するブラウザ

ヘルプ表示に使用するブラウザを選択します。

現在は、Netscape CommunicatorとMozillaが選べます。

使用するブラウザを選択し、設定してください。

UPSモニタプログラムを一度終了し、再度起動させると設定が有効となります。

3.3. 機能メニュー

メニュー・バーの「機能」をクリックすると、プルダウン・メニューが表示されます。



3.3.1. パスワードの入力

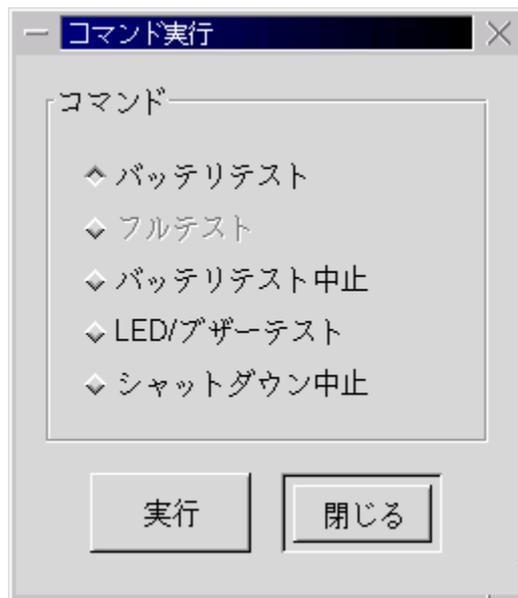
機能メニューから実行する機能は全てパスワードによって保護されています。UPS管理プログラムの構成で設定されているパスワードを入力しない限り、UPSに対してどのような操作も行うことは出来ません。



パスワードを入力して「了解」ボタンを押してください。入力した文字は全て「*」に変換されるので、画面上でパスワードを読み取ることは出来ません。

3.3.2. コマンド実行

画面にはコマンド実行のためのボタンが表示されます。



バッテリーテスト

バッテリーテストを実行します。

LED / ブザーテストコマンド

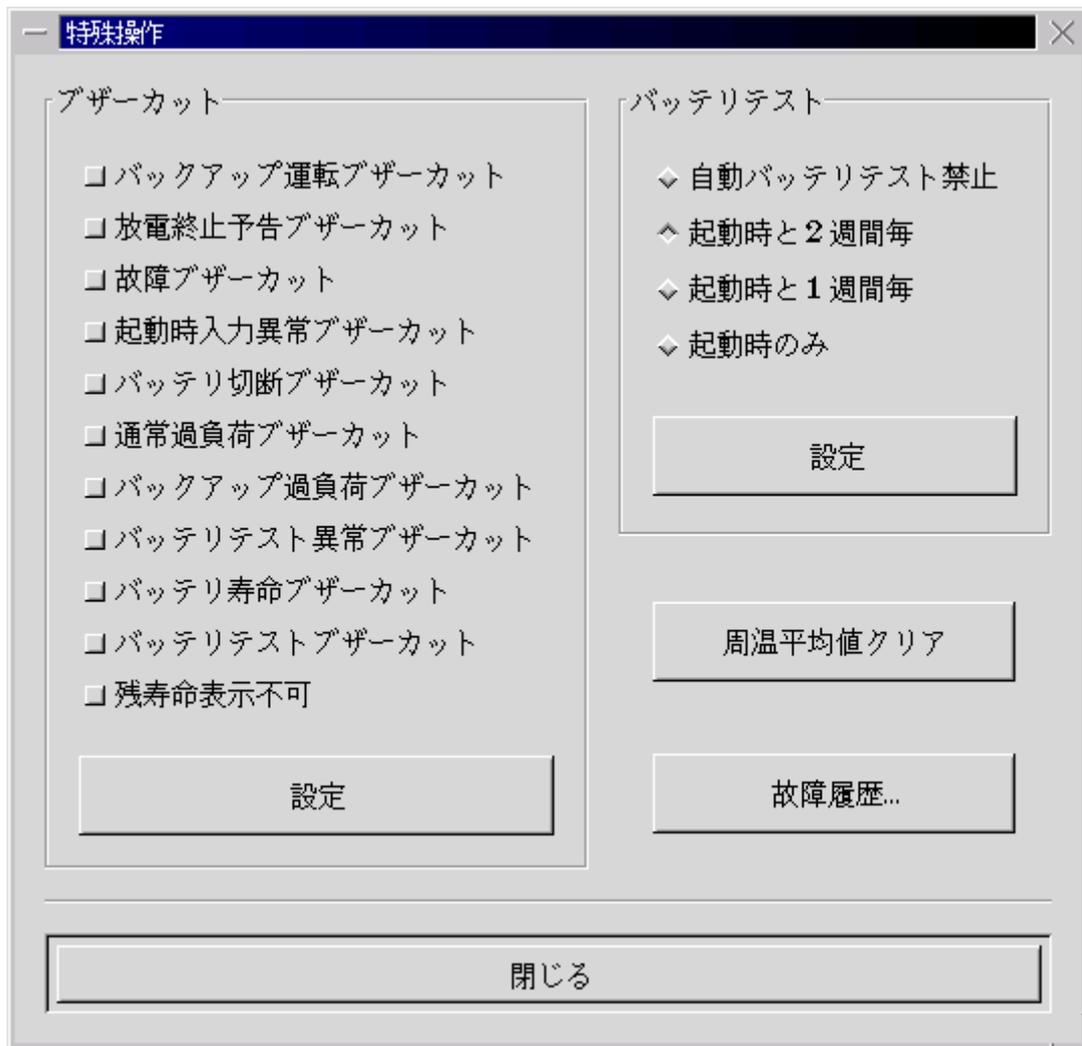
LED / ブザーテストを行います。

シャットダウン中止

既に発行されているシャットダウンコマンドをキャンセルします。

3.3.3. 特殊操作

UPSの機能設定や、UPS内に記録されているデータの読み出し等の操作を行います。



バッテリーテスト設定

UPSが自動的に行うバッテリーテストに関する設定を行います。チェックボックスがチェックされているのが、現在の設定値です。初期値は「起動時と2週間毎」に設定されています。設定変更を行うには、設定項目のボタンをクリックし、設定ボタンを押下してください。正しく設定変更が行われると、変更後のチェックボックスがチェックされます。

	項目名	内容
1	自動バッテリーテスト禁止	自動バッテリーテストを禁止する
2	起動時と2週間毎	起動時と2週間毎に自動バッテリーテストを実施する
3	起動時と1週間毎	起動時と1週間毎に自動バッテリーテストを実施する
4	起動時のみ	起動時のみに自動バッテリーテストを実施する

周温平均値クリア

ボタンをクリックすると、バッテリー周温平均値及び平均値算出日数がクリアされます。

ブザーカット設定

UPSのブザーカットに関する設定を行います。該当する項目横のチェックボックスがチェックされているものは、現在ブザーカットが設定されています。設定変更を行うには、設定項目のボタンをクリックし、「設定」ボタンを押下してください。正しく設定変更が行われると、変更後の項目のチェックボックスがチェックされ(ブザーカット)、あるいは通常表示(ブザー鳴動)されます。

	項目	内容
1	バックアップ運転ブザーカット	バックアップ中ブザーカット
2	放電停止予告ブザーカット	電圧低下発生時ブザーカット
3	故障ブザーカット	故障発生時ブザーカット
4	起動時入力異常ブザーカット	起動時入力異常時ブザーカット
5	バッテリー切断ブザーカット	バッテリー切断時ブザーカット
6	通常過負荷ブザーカット	通常過負荷時ブザーカット
7	バックアップ過負荷ブザーカット	バックアップ過負荷時ブザーカット
8	バッテリーテスト異常ブザーカット	起動時のみに自動バッテリーテストを実施する
9	バッテリー寿命ブザーカット	バッテリーテストNG発生時ブザーカット
10	バッテリーテストブザーカット	バッテリー寿命ブザーカット
11	残寿命表示負荷	バッテリー残寿命減算処理禁止

故障履歴

装置に故障が発生したとき、UPS内に記録される故障履歴データの読み出し及びクリアを行います。

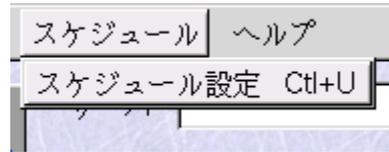
「故障履歴の読み出し」ボタンを押すと、UPS内部の故障履歴を読み出して、一覧に表示します。履歴データは故障発生順に0番から設定され、履歴数が5つを超えると、5番目のデータが破棄されて新しいデータが上書きされます。表示フォーマットは、発生日、発生時刻、故障情報、運転情報です。

「履歴クリア」ボタンを押すと、現在UPSに記録されている全ての故障履歴データを消去します。



3.4. スケジューラ

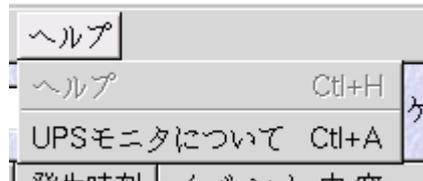
メニュー・バーの「スケジュール」をクリックすると、プルダウン・メニューが表示されます。



「スケジュール設定」を選択して、サーバの起動/停止のスケジュール設定を行います。操作方法については、「第10章スケジューラ」を参照して下さい。

3.5. ヘルプメニュー

メニュー・バーの「ヘルプ」をクリックすると、プルダウン・メニューが表示されます。



3.5.1. ヘルプ

NetpowerView Fのヘルプを表示します。

3.5.2. UPSモニタについて

UPSモニタプログラムのバージョン情報を表示します。

第4章 ツール・バー

ツール・バーから実行する各機能について説明します。
各ツールはファイル・メニューの各項目に対応しています。

4.1. 接続

ファイル・メニューの「接続」と同じ機能であり、UPS管理プログラムと接続を行います。



4.2. 切断

ファイル・メニューの「切断」と同じ機能であり、UPS管理プログラムとの接続を切断します。



4.3. サーバー検索

ファイル・メニューの「サーバー検索」と同じ機能であり、現在動作しているUPS管理プログラムを検索します。



4.4. 再検索

ファイル・メニューの「再検索」と同じ機能であり、UPS管理プログラムと接続している場合に、再度検索を行います。



4.5. イベントログ

ファイル・メニューの「イベントログ」と同じ機能であり、イベントログの読み込みを行います。



4.6. データログ

ファイル・メニューの「データログ」と同じ機能であり、データログの読み込みを行います。



4.7. 動作環境設定

設定・メニューの「動作環境設定」と同じ機能であり、動作環境の設定を行います。



4.8. コマンド実行

機能・メニューの「コマンド実行」と同じ機能であり、コマンドの実行を行います。



4.9. 特殊操作

機能・メニューの「特殊操作」と同じ機能であり、特殊操作を行います。



4.10. スケジュール設定

スケジュール・メニューの「スケジュール設定」と同じ機能であり、スケジュール設定を行います。



4.11. ヘルプ

ヘルプ・メニューの「ヘルプ」と同じ機能であり、ヘルプ画面を表示します。



4.12. 終了

ファイル・メニューの「終了」と同じ機能であり、UPSモニタプログラムを終了します。



第5章 ログ・ファイル

NetpowerView FのUPS管理プログラムは、ある一定周期で状態値を記録するデータ・ログ・ファイルと、イベント発生時にそのイベント名を記録するイベント・ログ・ファイルの2種類のログ・ファイルを作成します。

5.1. ログ・ファイルの設定

ログ・ファイルに関する設定は、UPS管理プログラムの構成のファイルタブで行ってください。

5.2. イベント・ログ・ファイル

イベント・ログ・ファイルには、UPS管理プログラムがUPSを監視中に発生したイベントが記録されます。1回のイベントがログ・ファイルの1行に対応し、各項目は全てカンマで区切られたCSV形式となっています。記録される項目は、イベント発生日付、発生時刻、イベント名です。イベント名はイベント・リスト・ウィンドウに表示されるものと同一です。

イベント・ログ・ファイルの記録例

2001.06.20,09:24:28,UPS管理プログラム開始.

2001.06.20,09:25:08,UPSコマンド:バッテリーテスト.

2001.06.20,09:25:17,UPS結果:バッテリーテスト 正常.

5.3. イベント・ログ・ファイル読み込み

UPS管理プログラムがサーバのローカルディスクに作成しているイベント・ログ・ファイルを、UPSモニタプログラムを実行している環境にコピーし、表示します。

イベント・ログ・ファイル読み込みでサーバからコピーしたログ・ファイルは、一時ファイル/tmp/eventlog.csvに保存されます。

5.4. データ・ログ・ファイル

UPSの状態値が一定周期で記録されるデータ・ログ・ファイルには、以下の項目が記録されます。1回の記録がログ・ファイルの1行に対応し、各項目は全てカンマで区切られたCSV形式となっています。このため、このログ・ファイルをMS-Excel等のアプリケーションソフトで処理することにより、データの解析を行ったり、グラフを表示させたりすることが出来ます。

	項目名	単位
1	ロギング日付	月/日/年(西暦)
2	ロギング時刻	時:分:秒(24時間制)
3	入力電圧	V
4	入力周波数	Hz
5	入力電力	KW
6	出力電圧	V
7	出力周波数	Hz
8	負荷率	%
9	バッテリー電圧	V
10	バッテリー周温	
11	バッテリー容量	%

データ・ログ・ファイルの記録例

2001.06.20,11:05:02,100.00,60.00,0.00,100.00,60.00,0.00,48.00,25.00,80.00

2001.06.20,11:10:09,100.00,60.00,0.00,100.00,60.00,0.00,48.00,25.00,80.00

2001.06.20,11:15:15,100.00,60.00,0.00,100.00,60.00,0.00,48.00,25.00,80.00

5.5. データ・ログ・ファイル読み込み

UPS管理プログラムがサーバのローカルディスクに作成しているデータ・ログ・ファイルを、UPSモニタプログラムを実行している環境にコピーし、表示します。

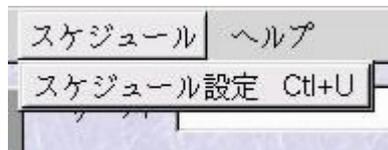
データ・ログ・ファイル読み込みでサーバからコピーしたログ・ファイルは、一時ファイル/tmp/datalog.csvに保存されます。

第6章 スケジューラ

6.1. スケジューラ画面の呼び出し

スケジュールメニュー

スケジュールメニューをクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。



パスワードの入力

スケジュールメニューから「スケジュール設定」を選択すると、パスワード入力画面が表示されます。

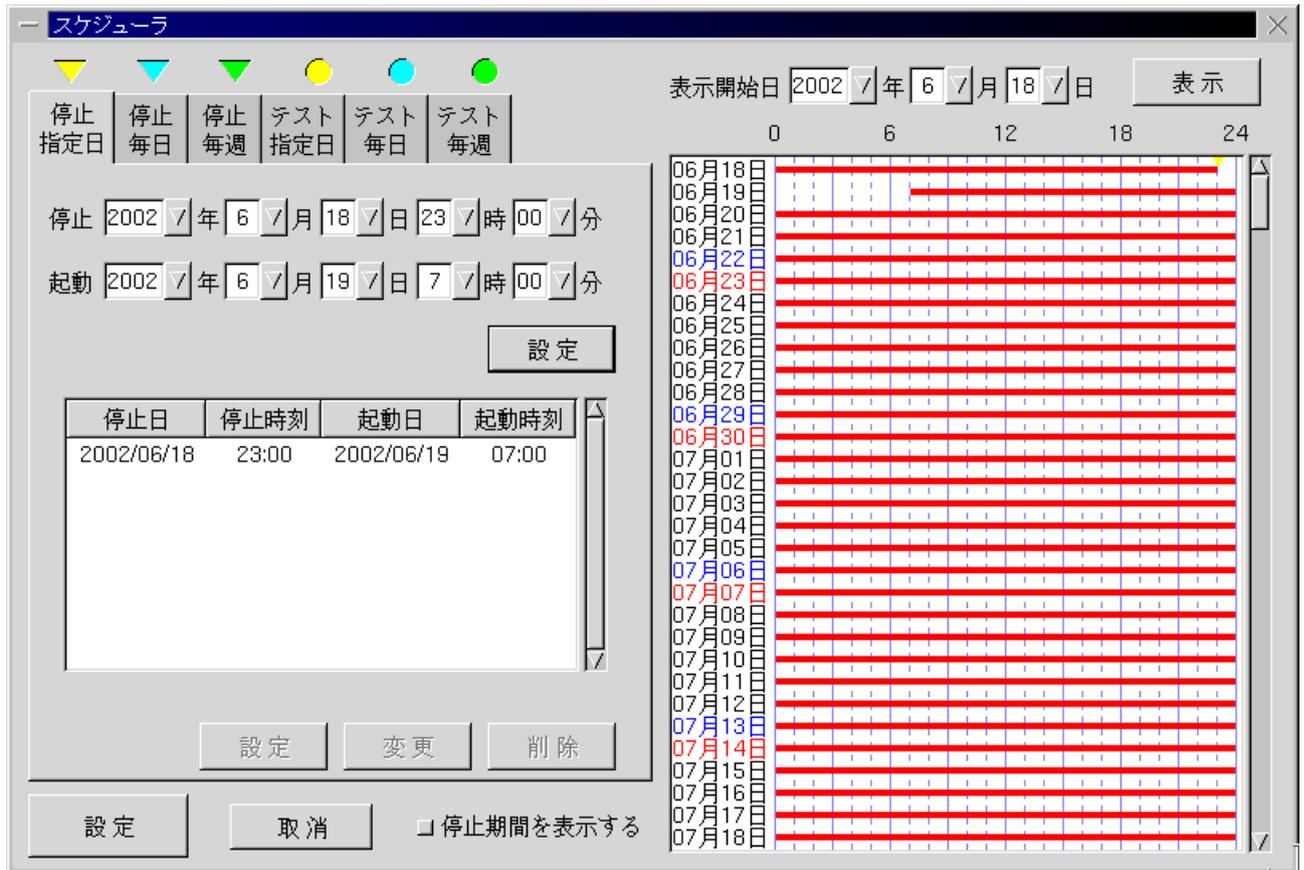


スケジュール設定画面の表示

パスワードを入力し、「了解」ボタンを押下すると、スケジュール設定画面が表示されます。



6.2. 指定日のシャットダウンスケジュール



「停止指定日」タブをクリックすると、指定日のシャットダウンスケジュール設定画面が表示されます。

指定日のシャットダウンとリストアを設定します。指定日のスケジュールデータは30個まで設定可能です。

「停止年」プルダウン

当年を始めとして、5年分の年リストより、停止年を選択します。

「停止月」プルダウン

月リストより、停止月を選択します。

「停止日」プルダウン

日リストより、停止日を選択します。

「停止時」プルダウン

時リストより、停止時を選択します。

「停止分」プルダウン

分リストより、停止分を選択します。

「起動年」プルダウン

当年を始めとして、5年分の年リストより、起動年を選択します。

「起動月」プルダウン

月リストより、起動月を選択します。

「起動日」プルダウン

日リストより、起動日を選択します。

「起動時」プルダウン

時リストより、起動時を選択します。

「起動分」プルダウン

分リストより、起動分を選択します。

「設定」ボタン1

日付とシャットダウン時刻、停止時間の入力後、このボタンを押下することによって設定したデータが、下のデータリストに表示されます。

「削除」ボタン

データリストのうちのひとつを選択し、このボタンを押下すると、選択されたデータを削除することができます。

「設定」ボタン2

このボタンを押下すると、データリストのデータが接続しているUPS管理プログラムに対して送信されます。

「取消」ボタン

このボタンを押下すると、スケジュール設定画面が閉じられます。

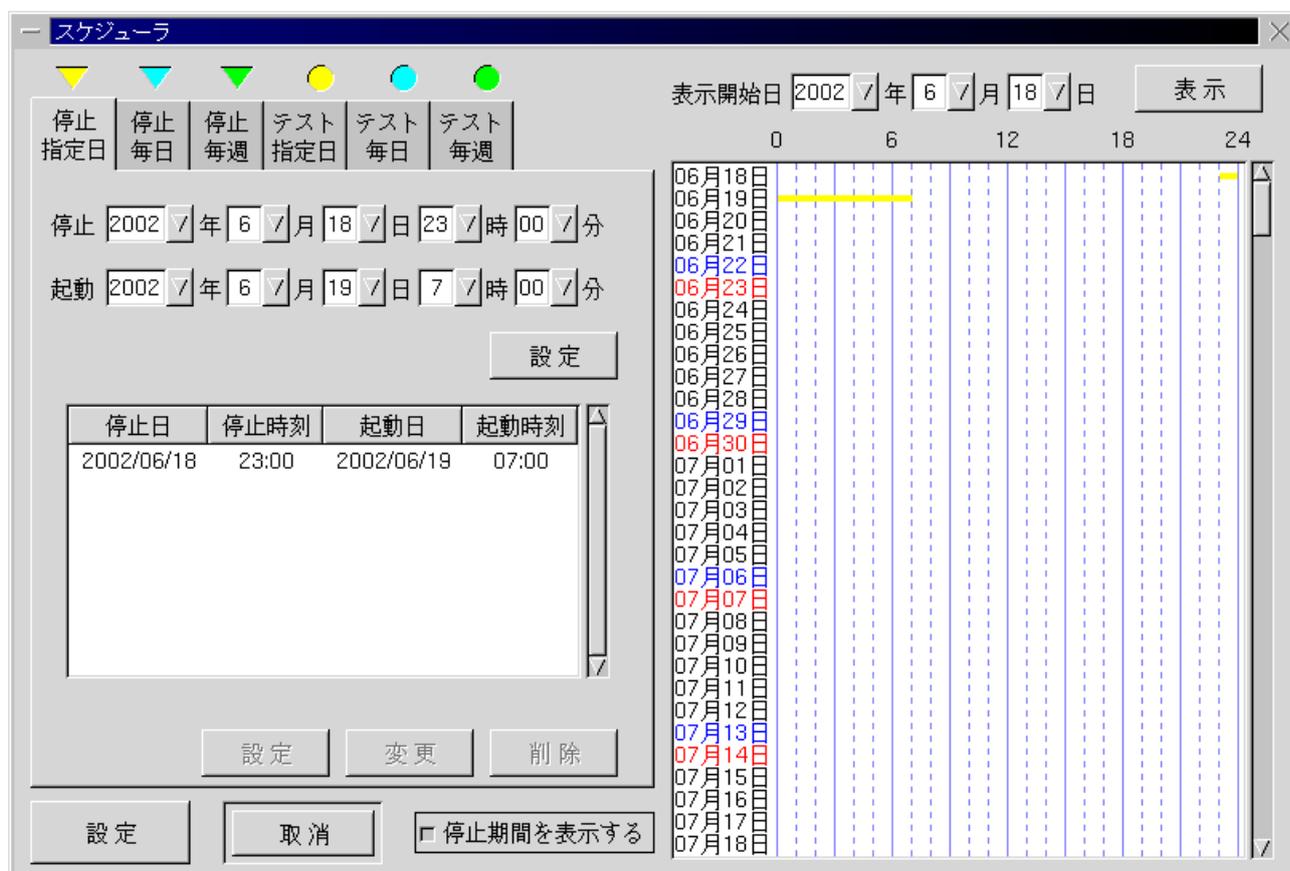
「停止期間を表示する」チェックボックス

このチェックボックスをクリックすると、UPSの停止/起動の表示が反転します。

初期状態ではOFFとなっていて、UPSの起動時がバーチャートで表示されています。

このチェックボックスをONとすれば、UPSの停止時が色分けされて表示されます。

シャットダウンの種類	表示色
指定日のシャットダウン	黄色
毎日のシャットダウン	水色
毎週のシャットダウン	緑色



停止期間を表示した場合の表示

「表示開始年」プルダウン

当年を始めとして、5年分の年リストより、バーチャートの表示開始日の年を選択します。

「表示開始月」プルダウン

月リストより、バーチャートの表示開始日の月を選択します。

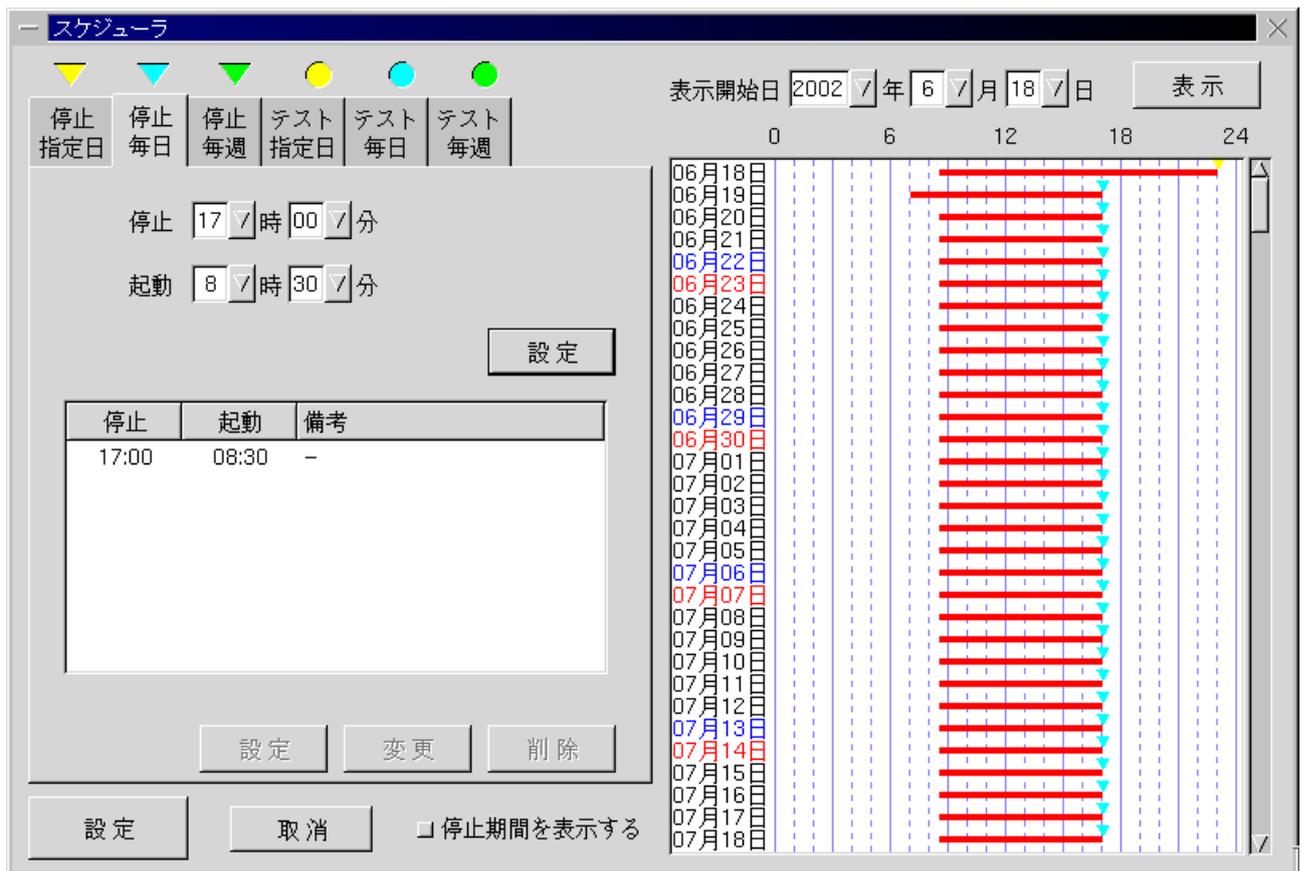
「表示開始日」プルダウン

日リストより、バーチャートの表示開始日の日を選択します。

「表示」ボタン

設定された表示開始日を先頭とするバーチャートが表示されます。

6.3. 毎日のシャットダウンスケジュール



「停止毎日」タブをクリックすると、毎日のシャットダウンスケジュール設定画面が表示されます。毎日のシャットダウンとリストアを設定します。毎日のスケジュールデータは8つまで設定可能です。

「停止時」プルダウン

時リストより毎日の停止時を選択します。

「停止分」プルダウン

分リストより毎日の停止分を選択します。

「起動時」プルダウン

時リストより毎日の起動時を選択します。

「起動分」プルダウン

分リストより毎日の起動分を選択します。

「設定」ボタン1

停止時刻、起動時刻の入力後、このボタンを押下することによって設定したデータが、下のデータリスト

に表示されます。

削除ボタン

データリストのうちの一つを選択し、このボタンを押下すると、選択されたデータを削除することができます。

「設定」ボタン2

このボタンを押下すると、データリストのデータが接続しているUPS管理プログラムに対して送信されます。

「取消」ボタン

このボタンを押下すると、スケジュール設定画面が閉じられます。

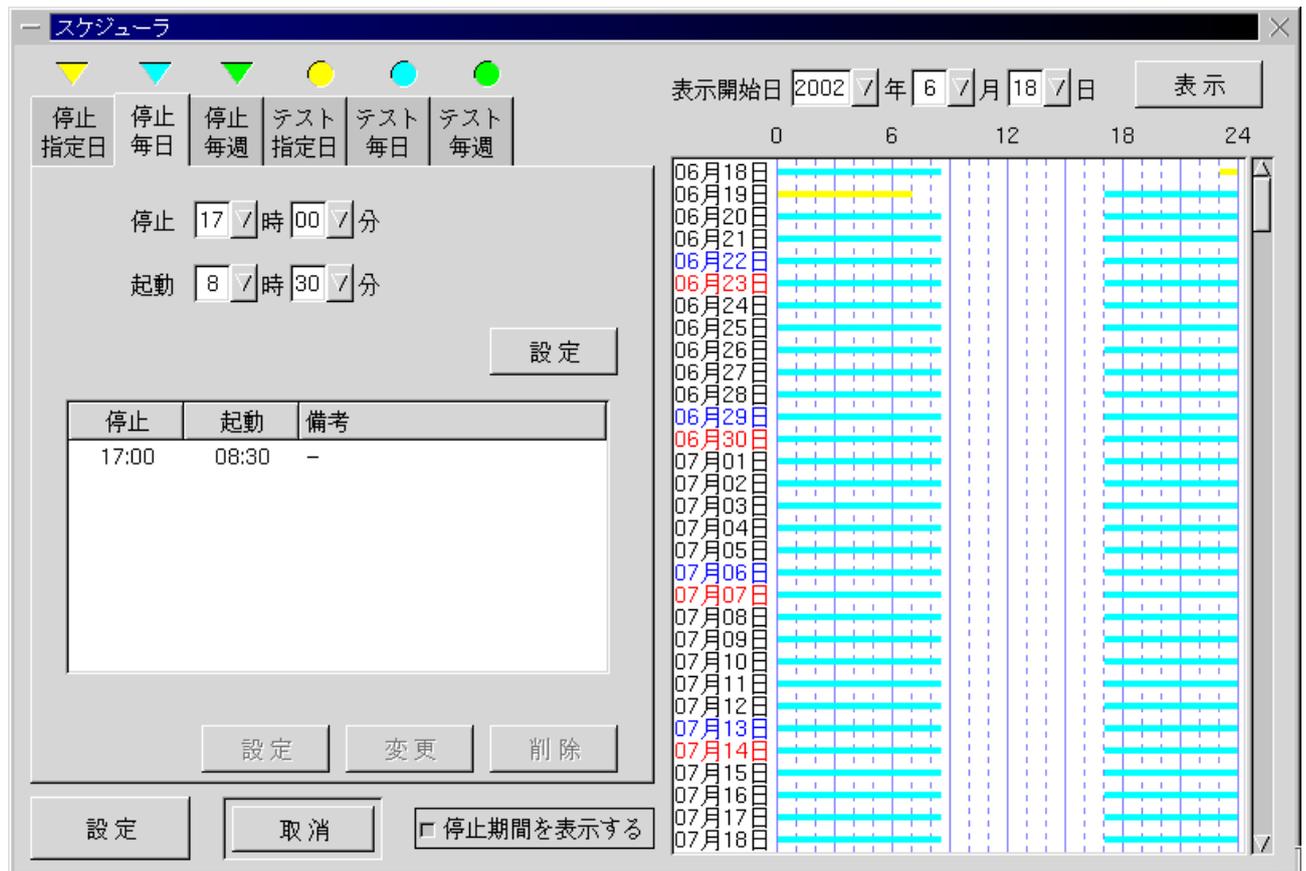
「停止期間を表示する」チェックボックス

このチェックボックスをクリックすると、UPSの停止/起動の表示が反転します。

初期状態ではOFFとなっていて、UPSの起動時がバーチャートで表示されています。

このチェックボックスをONとすれば、UPSの停止時が色分けされて表示されます。

シャットダウンの種類	表示色
指定日のシャットダウン	黄色
毎日のシャットダウン	水色
毎週のシャットダウン	緑色



停止期間を表示した場合の表示

「表示開始年」プルダウン

当年を始めとして、5年分の年リストより、バーチャートの表示開始日の年を選択します。

「表示開始月」プルダウン

月リストより、バーチャートの表示開始日の月を選択します。

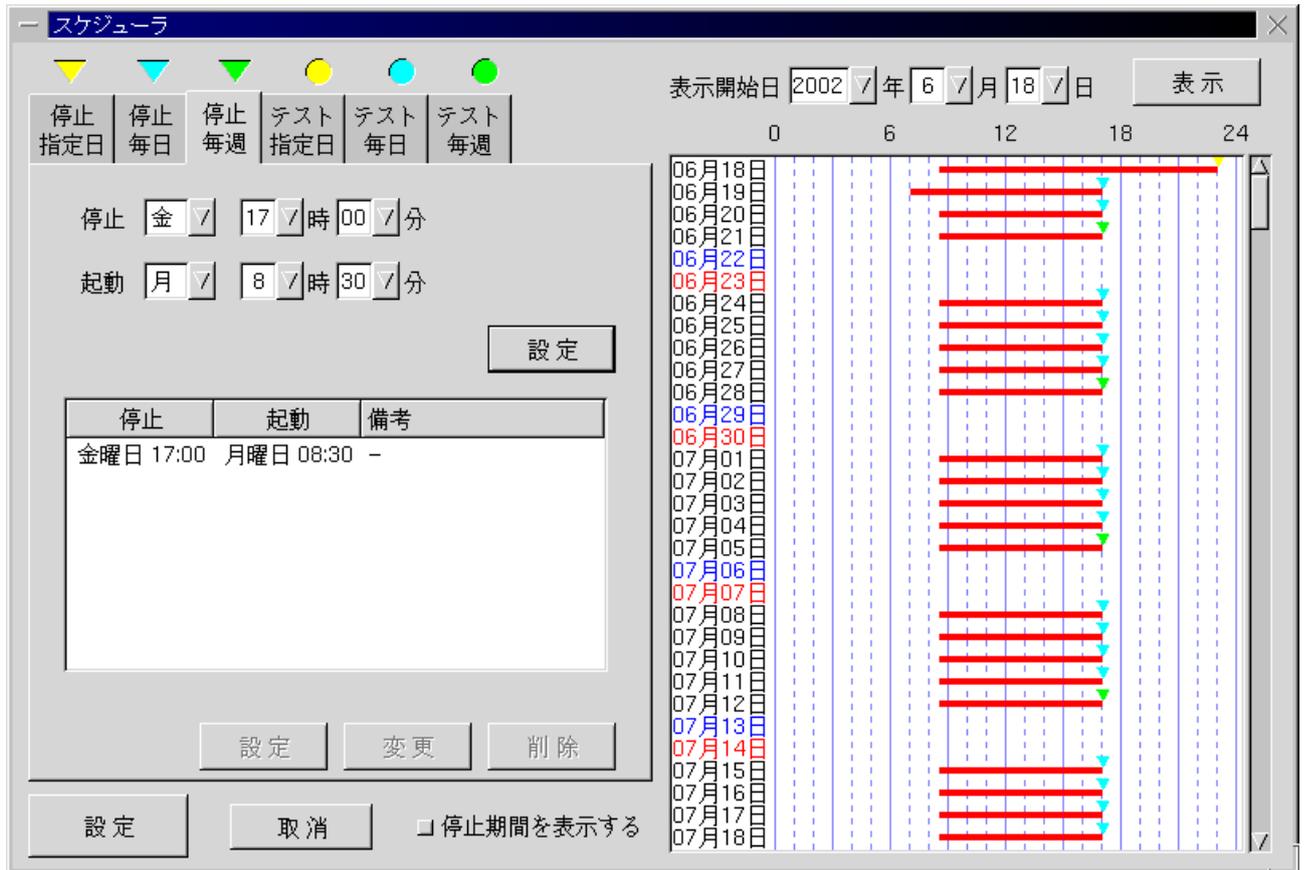
「表示開始日」プルダウン

日リストより、バーチャートの表示開始日の日を選択します。

「表示」ボタン

設定された表示開始日を先頭とするバーチャートが表示されます。

6.4. 毎週のシャットダウンスケジュール



「停止毎週」タブをクリックすると、毎週のシャットダウンスケジュール設定画面が表示されます。
毎週のシャットダウンとリストアを設定します。毎週のスケジュールデータは8つまで設定可能です。

「停止曜日」プルダウン

停止を行う曜日を選択します。

「停止時」プルダウン

停止時を選択します。

「停止分」プルダウン

停止分を選択します。

「起動曜日」プルダウン

起動を行う曜日を選択します。

「起動時」プルダウン

起動時を選択します。

「起動分」プルダウン
起動分を選択します。

「設定」ボタン1

各データ設定の後、このボタンを押下することによって設定したデータが、下のデータリストに表示されます。

削除ボタン

データリストのうちのひとつを選択し、このボタンを押下すると、選択されたデータを削除することができます。

「設定」ボタン2

このボタンを押下すると、データリストのデータが接続しているUPS管理プログラムに対して送信されます。

「取消」ボタン

このボタンを押下すると、スケジュール設定画面が閉じられます。

「停止期間を表示する」チェックボックス

このチェックボックスをクリックすると、UPSの停止/起動の表示が反転します。

初期状態ではOFFとなっていて、UPSの起動時がバーチャートで表示されています。

このチェックボックスをONとすれば、UPSの停止時が色分けされて表示されます。

シャットダウンの種類	表示色
指定日のシャットダウン	黄色
毎日のシャットダウン	水色
毎週のシャットダウン	緑色



停止期間を表示した場合の表示

「表示開始年」プルダウン

当年を始めとして、5年分の年リストより、バーチャートの表示開始日の年を選択します。

「表示開始月」プルダウン

月リストより、バーチャートの表示開始日の月を選択します。

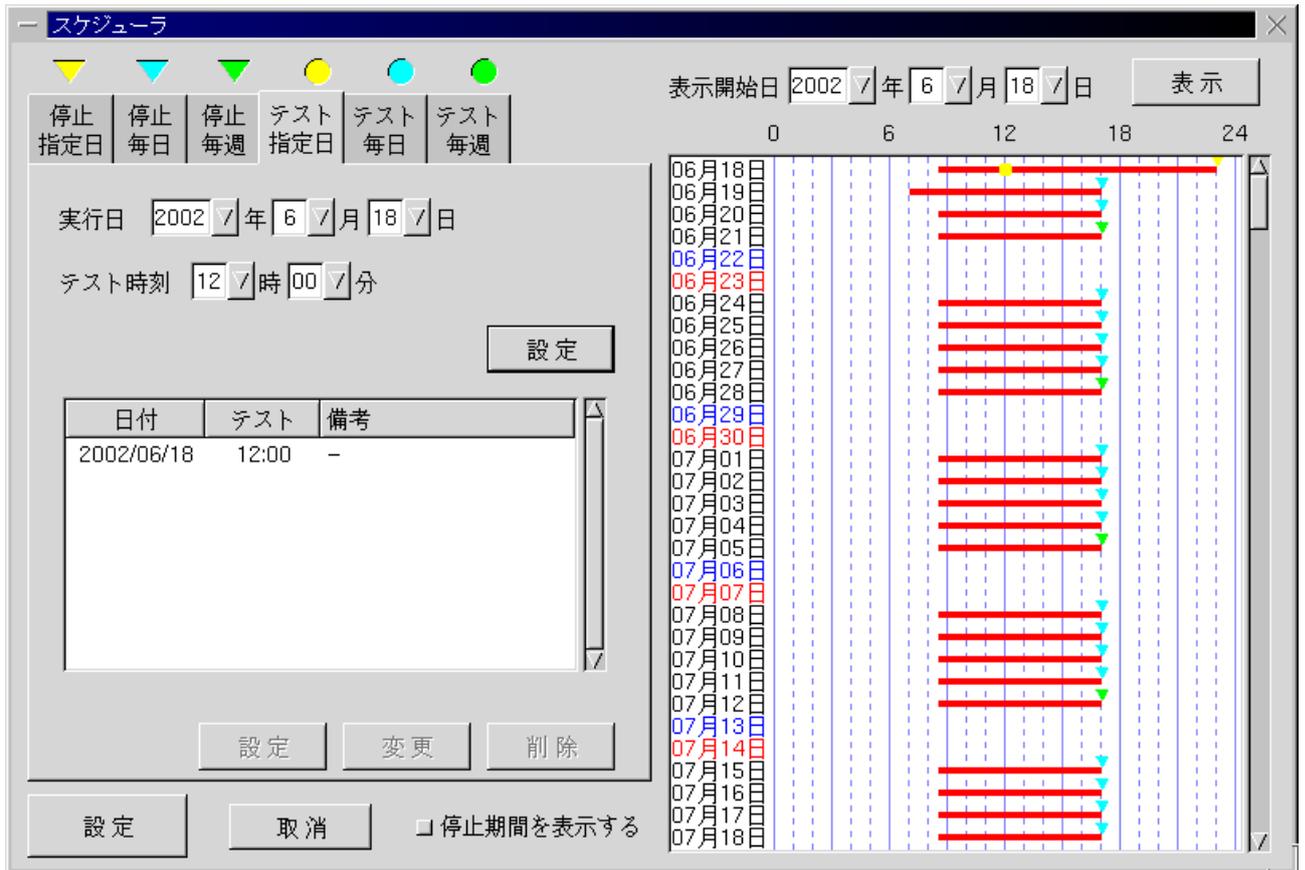
「表示開始日」プルダウン

日リストより、バーチャートの表示開始日の日を選択します。

「表示」ボタン

設定された表示開始日を先頭とするバーチャートが表示されます。

6.5. 指定日のバッテリーテストスケジュール



「テスト指定日」タブをクリックすると、指定日のバッテリーテストスケジュール設定画面が表示されます。指定日のバッテリーテストを設定します。指定日のバッテリーテストのスケジュールデータは30まで設定可能です。

「実行年」プルダウン

当年を始めとして、5年分の年リストより、バッテリーテスト実行年を選択します。

「実行月」プルダウン

月リストより、バッテリーテスト実行月を選択します。

「実行日」プルダウン

日リストより、バッテリーテスト実行日を選択します。

「実行時」プルダウン

時リストより、バッテリーテスト実行時を選択します。

「実行分」プルダウン

分リストより、バッテリーテスト実行分を設定します。

「設定」ボタン1

各データ設定の後、このボタンを押下することによって設定したデータが、下の毎週のデータリストに表示されます。

削除ボタン

データリストのうちのひとつを選択し、このボタンを押下すると、選択されたデータを削除することができます。

「設定」ボタン2

このボタンを押下すると、データリストのデータが接続しているUPS管理プログラムに対して送信されます。

「取消」ボタン

このボタンを押下すると、スケジュール設定画面が閉じられます。

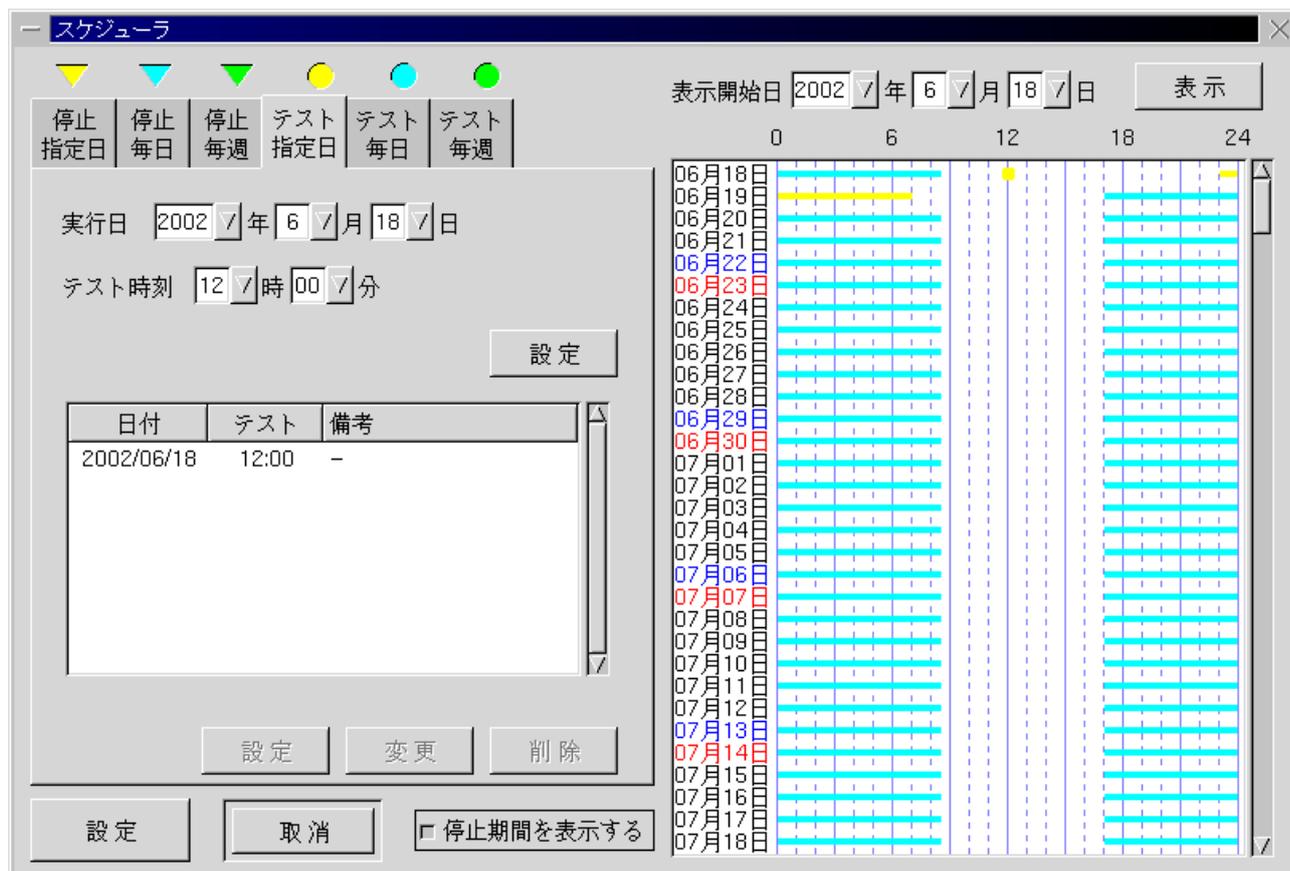
「停止期間を表示する」チェックボックス

このチェックボックスをクリックすると、UPSの停止/起動の表示が反転します。

初期状態ではOFFとなっていて、UPSの起動時がバーチャートで表示されています。

このチェックボックスをONとすれば、UPSの停止時が色分けされて表示されます。

シャットダウンの種類	表示色
指定日のシャットダウン	黄色
毎日のシャットダウン	水色
毎週のシャットダウン	緑色



停止期間を表示した場合の表示

「表示開始年」プルダウン

当年を始めとして、5年分の年リストより、バーチャートの表示開始日の年を選択します。

「表示開始月」プルダウン

月リストより、バーチャートの表示開始日の月を選択します。

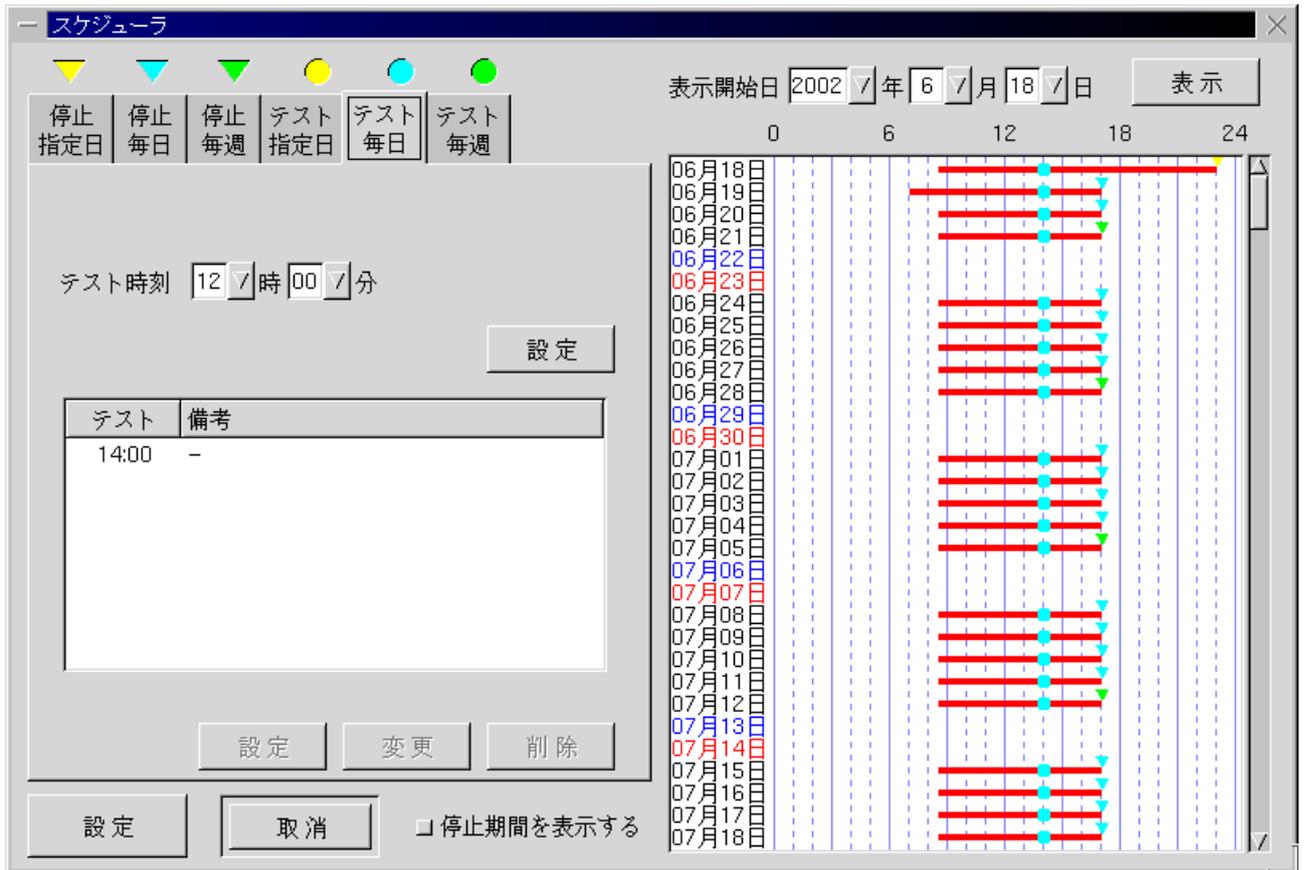
「表示開始日」プルダウン

日リストより、バーチャートの表示開始日の日を選択します。

「表示」ボタン

設定された表示開始日を先頭とするバーチャートが表示されます。

6.6. 毎日のバッテリーテストスケジュール



「テスト毎日」タブをクリックすると、毎日のバッテリーテストスケジュール設定画面が表示されます。

毎日のバッテリーテストを設定します。毎日のバッテリーテストスケジュールデータは8つまで設定可能です。

「実行時」プルダウン

時リストより、バッテリーテスト実行時を選択します。

「実行分」プルダウン

分リストより、バッテリーテスト実行分を選択します。

「設定」ボタン

各データ設定の後、このボタンを押下することによって設定したデータが、下のデータリストに表示されます。

削除ボタン

データリストのうちのひとつを選択し、このボタンを押下すると、選択されたデータを削除することができます。

「設定」ボタン2

このボタンを押下すると、データリストのデータが接続しているUPS管理プログラムに対して送信されます。

「取消」ボタン

このボタンを押下すると、スケジュール設定画面が閉じられます。

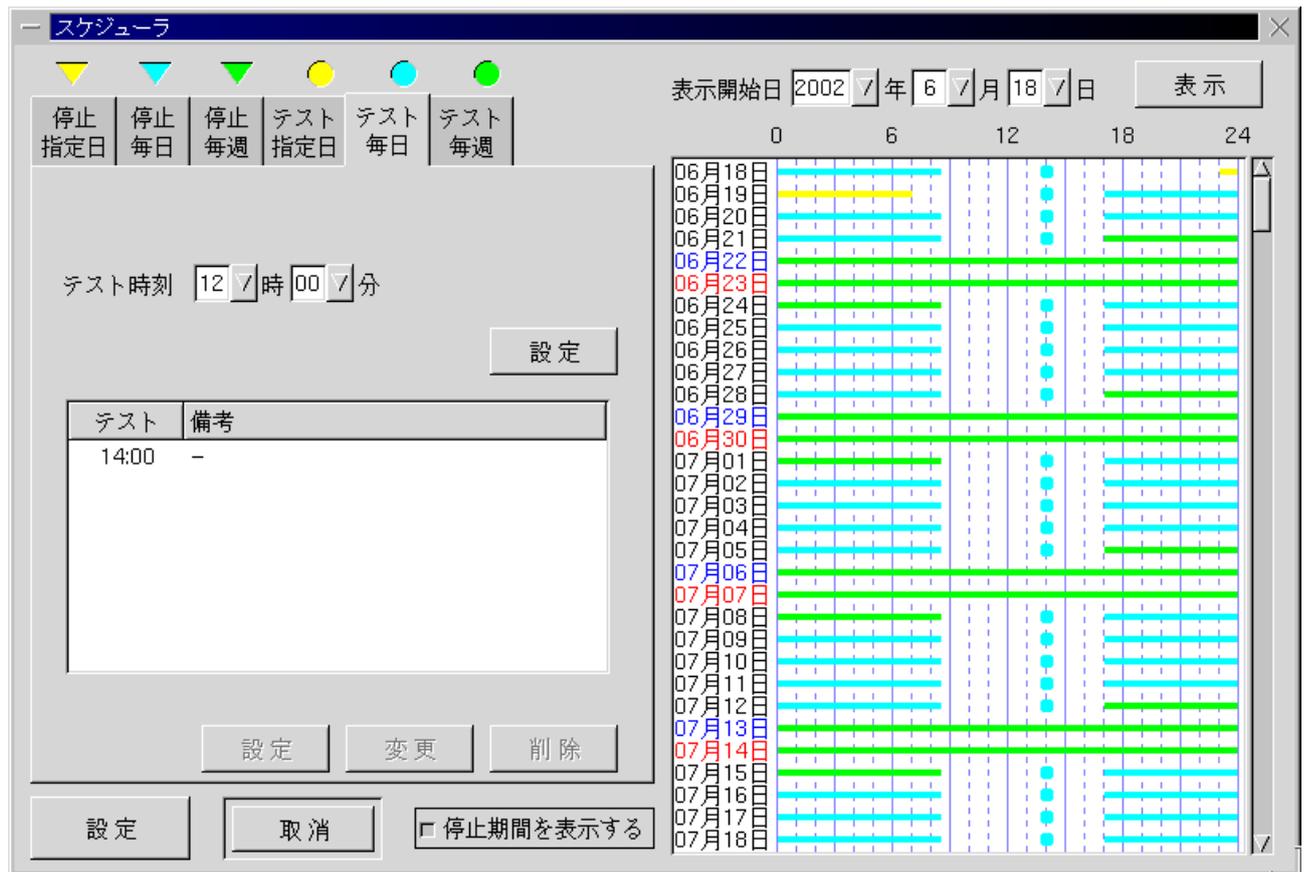
「停止期間を表示する」チェックボックス

このチェックボックスをクリックすると、UPSの停止/起動の表示が反転します。

初期状態ではOFFとなっていて、UPSの起動時がバーチャートで表示されています。

このチェックボックスをONとすれば、UPSの停止時が色分けされて表示されます。

シャットダウンの種類	表示色
指定日のシャットダウン	黄色
毎日のシャットダウン	水色
毎週のシャットダウン	緑色



停止期間を表示した場合の表示

「表示開始年」プルダウン

当年を始めとして、5年分の年リストより、バーチャートの表示開始日の年を選択します。

「表示開始月」プルダウン

月リストより、バーチャートの表示開始日の月を選択します。

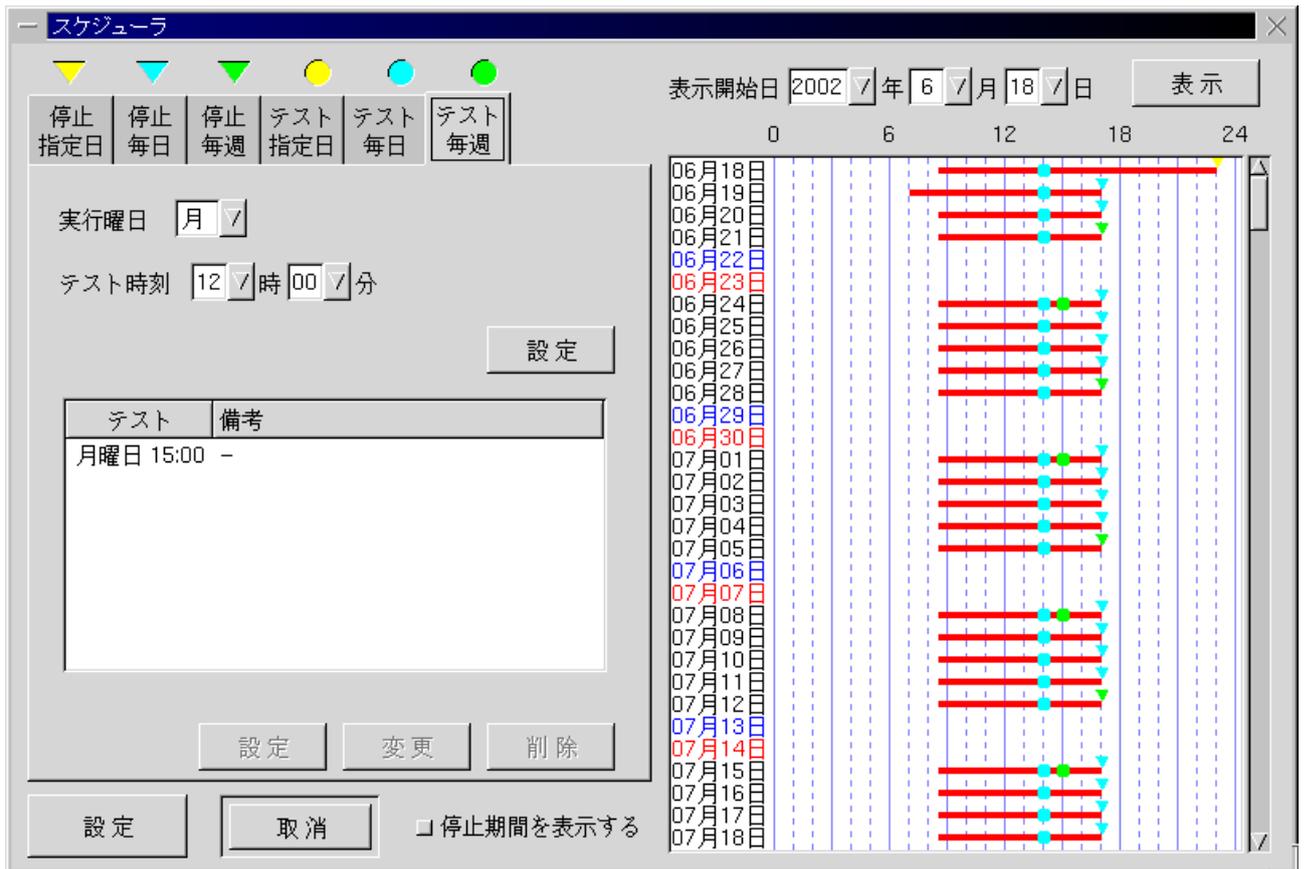
「表示開始日」プルダウン

日リストより、バーチャートの表示開始日の日を選択します。

「表示」ボタン

設定された表示開始日を先頭とするバーチャートが表示されます。

6.7. 毎週のバッテリーテストスケジュール



「テスト毎週」タブをクリックすると、毎週のバッテリーテストスケジュール設定画面が表示されます。

毎週のバッテリーテストを設定します。毎週のバッテリーテストスケジュールデータは8つまで設定可能です。

「実行曜日」プルダウン

バッテリーテストを行う曜日を選択します。

「実行時」プルダウン

バッテリーテスト実行時を選択します。

「実行分」プルダウン

バッテリーテスト実行分を選択します

「設定」ボタン1

各データ設定の後、このボタンを押下することによって設定したデータが、下のデータリストに表示されます。

削除ボタン

データリストのうちの一つを選択し、このボタンを押下すると、選択されたデータを削除することができます。

「設定」ボタン2

このボタンを押下すると、データリストのデータが接続しているUPS管理プログラムに対して送信されます。

「取消」ボタン

このボタンを押下すると、スケジュール設定画面が閉じられます。

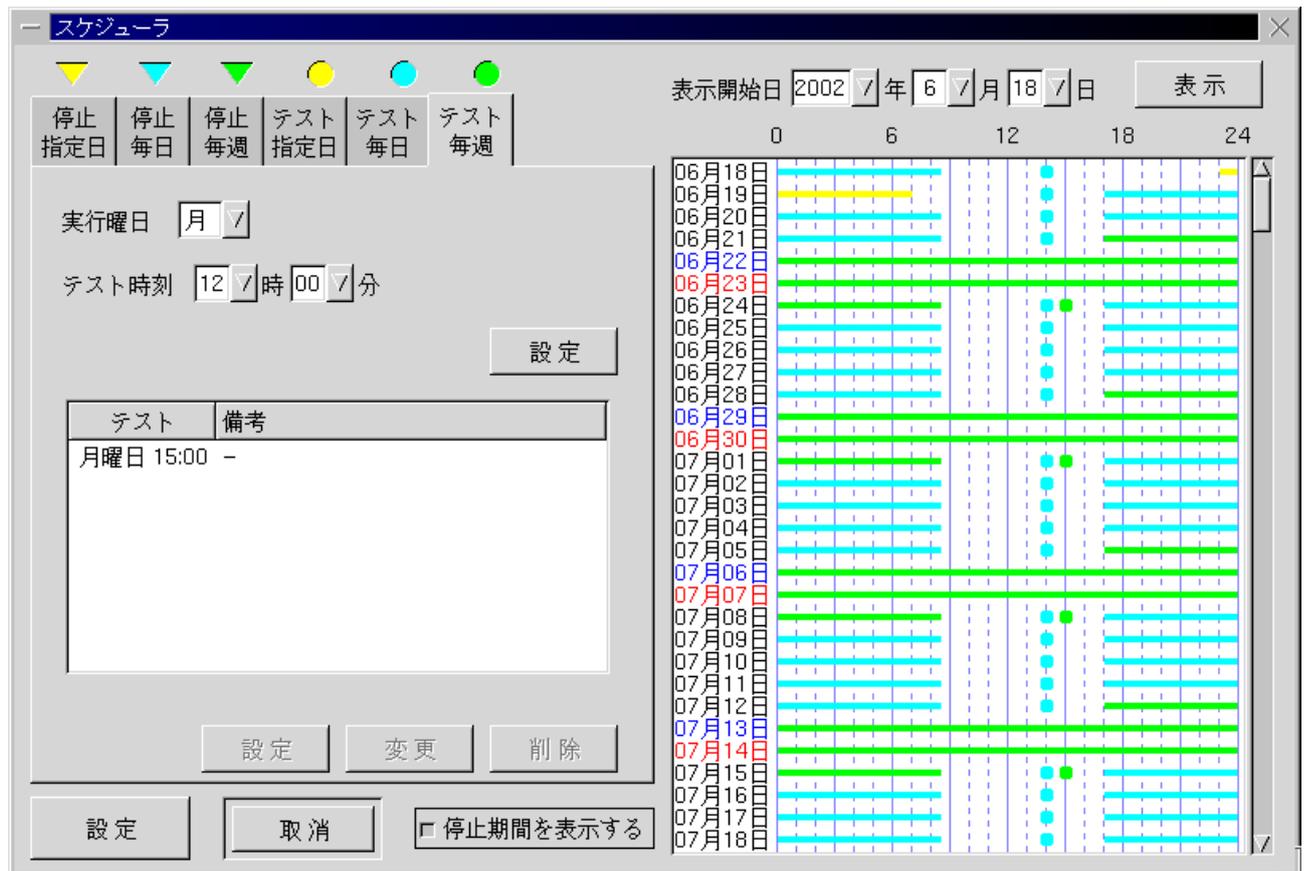
「停止期間を表示する」チェックボックス

このチェックボックスをクリックすると、UPSの停止/起動の表示が反転します。

初期状態ではOFFとなっていて、UPSの起動時がバーチャートで表示されています。

このチェックボックスをONとすれば、UPSの停止時が色分けされて表示されます。

シャットダウンの種類	表示色
指定日のシャットダウン	黄色
毎日のシャットダウン	水色
毎週のシャットダウン	緑色



停止期間を表示した場合の表示

「表示開始年」プルダウン

当年を始めとして、5年分の年リストより、バーチャートの表示開始日の年を選択します。

「表示開始月」プルダウン

月リストより、バーチャートの表示開始日の月を選択します。

「表示開始日」プルダウン

日リストより、バーチャートの表示開始日の日を選択します。

「表示」ボタン

設定された表示開始日を先頭とするバーチャートが表示されます。